

【韓国】

11-12月の市場動向トピックス

- 2019年11月の訪日韓国人数は、前年同月比65.1%減の205,000人であった。
- 2019年12月の訪日韓国人数は、前年同月比63.6%減の248,000人であった。
- 一部旅行会社・航空会社では日本旅行商品の広告再開の動きがあるものの、航空便の減便・運休や訪日旅行控える動き、中国やベトナムなど海外渡航先の多様化、韓国経済の低迷など、様々な要因から、訪日者数は11月、12月ともに前年同月を大幅に下回った。

11-12月の主なプロモーション活動

- 日韓情勢の影響により延期となっていた航空会社・旅行会社との共同広告を、11月より本格的に再開した。訪日旅行商品の共同販促に加え、「100 EXPERIENCES in JAPAN(2019年6月JNTO発行)」掲載の観光コンテンツを組み込んだ訪日旅行商品を開発するなど、幅広く取り組んでいる。JNTOソウル事務所では、積極的なプロモーションを通じて、韓国旅行業界に残る広告自粛ムード払拭を図っている。



(100 EXPERIENCES in JAPAN)



(各社との共同広告実施例)

- 日本に居住経験のある韓国人インフルエンサーを「ジャパントラベルパートナー」に任命し、情報発信を行った。居住経験があるからこそ見える日本の魅力を、韓国人ならではの共感値の高い切り口で紹介する動画を制作し、YouTubeにて公開、JNTOの各種SNSにて拡散を行った。



(ジャパントラベルパートナー 投稿動画)